

3.11で震災・津波・原発事故の三重苦に見舞われ陸の孤島と化した福島県南相馬市からユーチューブで窮状を世界に訴え米タイム誌で「世界で最も影響力のある100人」選ばれた桜井氏と後藤さんの対談！

## 南相馬市の桜井市長



ホテル六角の食堂兼ロビーで対談中

後藤雄一さん

南相馬市の桜井勝延市長を紹介してくれるというので後藤さんに付いて秋日和のある日、福島へ。実は私も知らなかったが、後藤さんと桜井市長は10年来の同志。桜井氏が市長になる前の議員時代の、その前からの知り合い。

東日本大震災前の南相馬市では行革市長として歳出費を1割カットと着実に健全財政を実行していた人物。お会いしたのは南相馬では有名な「ホテル六角」。桜井市長の「ねじろ」とでも言うべき場所。ホテルと言ってもビジネスホテル！

大震災前、市長として年間、五百人くらいの面会者だったが、ユーチューブ以後、約半年で数千人と桁違いになったとか。「覚えきれないよね」と笑っていた。後藤さんは震災後すでに数度支援物資を届けている。

「とにかく南相馬をどうやって再建するか、それが課題だね」「オレがトップセールスで南相馬に雇用のコアを作らなくちゃ」・・・様々なアイデアや構想が飛び出し、すべて前向き。聞いていると伸び盛りの中小企業のオヤジを連想させるタイプ。

# 福島を忘れないで欲しい

桜井市長の言葉で刺さったのは「東京の人（最大の電力消費の人たち）は福島を忘れないで欲しい」。確かに東京では「脱原発」は少しづつ遠くなりつつあるのかも知れない。福島の情報も減少している。しかし福島原発の惨状は変わってはいない。

## 都議会の「原発住民投票条例」否決

自 民 公

2012年6月21日 読売新聞

### にはがっかり

ホテル「六角」は福島原発から21キロ。数百メートル歩けば20キロ圏内。（新宿都庁から府中ほどの距離）後藤さんと桜井さんの話は脱原発に。「原発なんて産業モデルとしては破綻している」「最終処理ができないまま、どうすんの」6月に32万筆を集めた「原発住民投票条例」では後藤さんも私も受任者となり署名集めに奔走した。「後藤さん！どうしてなのかな」否決に桜井さん無念をにじませる。ちなみに福島県民は東北電力を使用している。



南相馬市の置かれている状況には厳しいものがある。少なくとも原発の問題は東京の問題でもあり、消費者として電気を大量に使ってきた大人の責任である。（大人と言っても個人的には五十代前後の世代より上だろうか、原発を無警戒に使ってきたように思う）こんな状況を私たちの世代で変えないで、未来の子どもたちに引き継がせていいのだろうか。

## 後藤さん、脱原発の声を都議会に届けてよ！



都知事選挙 11月29日（木）スタート  
衆議院選挙 12月04日（火）スタート  
都議補選 12月07日（金）スタート

12月16日投票

何かと忙しい師走ですが、期日前投票があります。期日前投票は都議補選がスタートした後の12月9日以降なら1回で全部の選挙が済みます。

※12月9日以降には裁判官国民審査も含まれます。 各紙都議補選関連の報道（11月15日現在）

### 都議補欠選挙について

実は今回の都議補選に当選しても任期は7ヶ月。現在の都議会議員の任期である来年7月までです。公選法等の規定では残り任期が6ヶ月を切れれば補欠選挙は行われませんが今回はわずかに1ヶ月上回って残り任期が7ヶ月のため行われます。何だか無駄なような気もしますが・・・無駄使いしない人を選ぶしかありません。選挙公報等をしっかり見て選びましょう。

大政党と対決する「行革110番」という構図

11月7日毎日新聞  
世田谷区から後藤氏が表明  
世田谷区選挙区（改選数1）には、元都議の後藤雄一氏（63）が6日、無所属で立候補すると表明した。政党の推薦は受けない。後藤氏は「福島第1原発事故によって、原発は税金の無駄遣いの究極と分かった。東京から『脱原発』を訴え、やり残した都議会改革にも取り組みたい」と語った。  
11月15日朝日新聞  
12月16日に投票の都知事選に合わせて行われる都議補選世田谷区選挙区（被選挙数1）で、社民党都連は14日、世田谷区議の羽田圭一氏（58）を公認することを発表した。13日の常任幹事会で決めた。羽田氏は取材に対し、「情報公開の徹底や原発に頼らない地域社会の実現を訴えていきたい」と話した。  
同選挙区では、これまで「行革110番」代表の後藤雄一氏（63）、民主党公認の菅谷康子氏（38）、自民党公認の大場康宣氏（65）の3人が立候補を表明している。また、共産党世田谷地区委員会も、週明けにも候補者を擁立するとしている。

### あとがき



大庭正明

本号編集集中に“政変”が起きて、降って湧いた師走選挙。前回の民主ブームの結果、何が起きたのかじっくり思い出して、地に落ちた政治家の醜態劇を一掃するチャンスです。キッチリした回答を投票で示しましょう。

後藤さんも私も3.11以後、やはり「脱原発」しかこの国の未来はないだろう、と話し合いました。「行革+脱原発」というのは妙な組み合わせかも知れませんが、南相馬の桜井市長はそ

れを実践されています。「脱原発の議員を東京で増やして下さい」これが彼の願いです。福島の問題は福島だけでは解決しません。

またオモテ面は公務員制度改革をしなければダメだということを経験から考えてみました。ちょっと未消化の部分があったかもしれませんが。ご意見等は同封のハガキでお送り下さい。（9月送付の48号49号が届いてない方も同封ハガキでご連絡下さい）

